

前回の学校の様子から校舎の雰囲気が変わりました。

前回までは校舎の全体はセメントの色でした。内装の塗装が予想以上に早く進み、外装及び屋根の設置まで完了しています。

この地域周辺ではあまり雨が降らなかったため、職人たちも作業を手際よく進めていました。ここまで作業が進むと、もう作業が終了してしまったのではないかと思います。まだ全ての作業は終了していません。



教室には写真のようにタイルが設置されています。タイルを設置すると校舎の掃除がより簡単に出来ます。セメントのままでは、埃などが微妙な隙間に入り込みどうしても掃除できない場所が出てしまいます。しかし、タイルが出来たことでそういった心配は無くなりますので、しっかりと掃除をすることで綺麗な状態をずっと保てられます。

学校の裏側の壁面も塗装は終了しています。薄い黄色に赤みが掛かったラインが入っています。カンボジアの校舎の色の規定はありませんが、多くの校舎は同じような色となります。国民の多くが仏教徒なので、仏教とゆかりのある色で統一しています。黄色と赤の校舎に温かみを感じます。





生徒が集まる午後の授業風景



気温が上昇し、暑がる生徒



学生たちは授業の合間に校舎を見学することがあります。早速子どもたちは、僕はこの教室で勉強する、私はこの教室で勉強すると言い合いを始めていました。やっぱり新しい校舎は子どもたちの注目的となっています。先生は子どもたちにせつかく学校を頂いたからもっとみんなも勉強しないとねと子どもたちに言っていました。

↓学生たちと撮影

子どもたちはもうすぐ出来る学校の中に早く入りたくてうずうずしています。これから彼らは沢山勉強して、沢山の友だちを作って、色々な失敗や成功を学校ですることになります。

落成式では子どもたちにご挨拶をしたいと言っています。



どうもありがとうございます。